



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



2017-2018 年度

国際ロータリー会長 / イアン H.S. ライズリー 会長 / 佐々木 哲也 副会長 / 小汀 泰之
2690地区ガバナー / 池上 正 幹事 / 曾田 敏康 会計 / 高砂 明弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365 / IP : 050-5204-5816
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
6月14日	会員 飯塚大幸	インド仏跡巡拝の旅
6月21日	会長 佐々木哲也	1年を振り返って 18:30~
6月28日	休会	
7月5日	会長 小汀 泰之	新年度会長方針 18:30~

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
45	32	13 (5)	80.00 %	89.74 %

■欠席者

高砂 / 来間 / 園山 / 大谷良 / 飯塚俊 / 日野 / 板垣 / 石原俊
(山根 / 牧野 / 田中久 / 遠藤 / 岩浅)

■来訪者

なし

■メイクアップ

なし

■次回例会受付当番

(6月21日) 松浦剛司 / 榎野良文 / 三好洋平

(7月5日) 大谷良治 / 持田稔樹 / 持田祐輔

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央 6/18 6/25(一) 7/30(一) 8/13(一)	松江南 6/18 6/25
火	出雲 6/26	松江しんじ湖 6/19 6/26 7/17 8/14
水	大社 6/20 6/27(一)	松江 6/20 6/27
木	(一) ; ビジター受付 なし	松江東 6/21 6/28(一)
金	出雲南 6/22 6/29(一) 7/20 8/10(一) 8/24 8/31(一)	

■会長挨拶

先週、千葉大学病院で、CT検査にまつわるミスがあったとの記者会見がおこなわれました。診療を担当した医師が放射線診断専門医に画像診断を依頼しなかったためにCT画像に写っている異常な病変を見落としたこと、専門医が報告書に記載していた内容を担当医が見落としたこと、また専門医による報告書の作成遅れ・作成もれのために担当医が気づかなかったなどで、ガンの治療時期が遅れてしまったという内容でした。こういったミスがおこる要因の一つに医療の高度化に伴って業務量が増えていることがあげられ、医師の不足や偏在も無関係ではないと思われます。

同病院で年間約6万件もあるCTなどの画像診断のうち、約4万件を常勤5人、非常勤5人、計10人の放射線診断専門医で対応していたそうです。4万件は、仮に常勤医換算7.5人で365日休みなく対応すると、1人15件ですので、勤務時間内に業務を終えることはかなり難しかったことが想像できます。

私は現在、時間外労働の規制を受ける立場にありませんが、大学に勤務していた頃には、かなりの時間外労働をおこなっていました。長い時間を要する手術の日であれば、手術を終えて、患者さんの術後の様態が落ちつき、ご家族に説明するまでは、業務が終わったことになりません。

国会では働き方改革の審議が進んでおり、時間外労働時間に上限を設定することなどが議論されています。具体的には、原則、月45時間・年間360時間を上限とする。臨時的に特別な事情がある場合でも、年間上限

720時間、単月100時間未満、複数月平均80時間未満を限度とする、などです。

医師には医師法に規定された応召義務が課されているため、上限規制の適応を5年間猶予すること、そして「医師に適用する規制の具体的な在り方」や「医師の労働時間短縮策」を検討会で議論することが決まっているようです。医療の提供不足を招くことがないような「適正な上限時間」を、診療科ごと、あるいは医療機関の役割ごとに、検討することが想定されていますが、どのような形に落ちつくのでしょうか。

■幹事報告

1. 例会変更

○出雲南RC 7/20(金) 移動例会(ホテル武志山荘)

8/24(金) 早朝例会

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

2. 休会

○出雲南RC 8/10(金)・8/31(金) 定款第8条による

ビジター受付 なし

○松江しんじ湖RC 7/17(火)・8/14(火) 定款第8条による

ビジター受付 12:00 ~ 12:30 すいてんかく

3. ガバナー事務所より

日本のロータリーが100周年を迎えるにあたり、記念事業等委員会では記念ピンバッジのデザインを募集(6/30(土)締切)しておりましたが、締切を1ヶ月延長、7/31(火)を最終締め切りとお知らせがありました。応募要項・詳細についてはロータリーの友 3月号横組みP.39をご覧ください。

■スマイル

佐々木・大谷厚 (飯塚大幸会員のスピーチ楽しみにしています。よろしくお願ひします。)

曾田 (飯塚会員、本日の卓話宜しくお願ひ致します。園山会員、島根県議会副議長の就任おめでとうございませう。益々の御活躍をお祝ひ申しあげます。)

榎野 (園山繁会員の島根県議会副議長就任をお祝ひ申し上げます。)

持田稔 (原 伸雄様、入会おめでとうございませう。)

小汀 (本日は所用で早退致します。)

■スピーチ・例会行事

「インド仏跡巡拝の旅」

飯塚大幸 会員



← お釈迦さまがお悟りを開かれたブダガヤ菩提樹下での読経と瞑想



本年2/13~21、私は有志の方々と総勢20名でインド仏跡巡拝の旅に出かけて参りました。一畑薬師に供養された眼鏡を1,400個を持参して、お悟りの聖地バダガヤにあるロータリークラブへ寄贈させていただきました。当クラブからご協賛いただき有り難うございました。詳しくは、写真とそのキャプションをご覧ください。

「郷に入れば郷にしたがえ」で、篤信の6名が沐浴をしました。そもそも沐浴はインドの人々、特にヒンズー教徒の習慣ですが、もちろん仏教徒も沐浴を大切にしています。お釈迦様のお母様マーヤ夫人がお産のためのお里帰りの途中で、休憩のため立ち寄られたルンビニの花園で沐浴をされました。池から出て20歩を歩まれ、さわやかな陽の光に赤い花が咲き乱れたアショカの木に夫人の右手が触れたそのとき、まさに王子を出産されたかと伝えられています。その35年後、お釈迦様は、6年間断食してみたものの厳しい苦行では真の幸福を得ることはできないと悟り、山から下りてネーランジャーナ河で沐浴をされたのです。村娘スジャータから乳かゆの布施を受け、身心の回復をはかって深く瞑想に入り、ついに大きなお悟り開かれたと伝えられています。

私たちが訪れた2月のインドは乾季です。ネーランジャーナ河には水がありません。ヒンズー教の聖地ヴァラナシにてガンジス河に入りました。頭ひとつを水面に出し、水平線の向こう岸から登る朝日に合掌礼拝、般若心経を唱え、仏恩感謝・社会の安寧を祈りました。ガンジスの水は濁っており、底もぬるぬるでしたが、身も心もさわやかに浄められたと実感しました。

後日談ですが、今月のニュースでガンジスの沐浴は「危険」～近年流域人口が増え、排泄物のほか工場廃液も増加、川岸で火葬された遺体や遺灰も流されていて汚染は深刻～とありました。これには少々驚きましたが、確実にお蔭をいただけたようで皆さん元気に暮らしていらっしゃいます。

(インド紹介) インドにはインダス文明に遡る古い歴史があります。多様な民族、言語、宗教、文化により「インドは国と言うより大陸である」と表現されます。主な言語だけで15を超えるためインド政府が発行する紙幣には17の言語が印刷されています。ヒンズー教徒が最も多く80.5%、イスラム教徒13.4%、キリスト教徒2.3%、シーク教徒1.9%、仏教徒はわずか0.8%ですが、約1千万人です。カースト制度はすでに法律では禁止されていますが、その影響は今でも強く残っており、複雑な身分制社会を形成しています。貧困に苦しむ人が多い中(識字率は74%)、近年の経済発展のおかげで低所得者層の生活も改善されつつあります。

インドの経済は、農業、工業、鉱業、ITサービス産業と多種多様な分野に富んでいて、労働力人口の3分の2が直接、或いは間接的に農業で生計を立てている一方、製造業とサービス業は急速に成長している部門であり、インドの経済に重要な役割を担うようになってきています。アジア開発銀行(ADB)は、インドの中間層が向こう15年間で人口の7割に達するとの見方を2011年に発表しています。

お釈迦さまが教えを説かれた霊鷲山の山頂(多くの弟子や国王大臣貴族一般聴衆が集まった)



お釈迦さま臨終の地クシナガラ(沙羅双樹の林の中に頭北面西で横臥された)



ガンジス沐浴をする6名の篤信の勇姿(朝日に向かって般若心経を唱えました)



ヒンズー教の聖地バラナシのガンジス河(朝日を拝み、船上での茶席も堪能しました)



三蔵法師も学ばれたナーランダ大学跡(当時世界最大の総合大学とされる)



薬師経が説かれたヴァイシャリ(一畑薬師のルーツと言える聖地)



インドの食事はカレー主体で美味しく(中辛)舌鼓を打ちました

